

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2019No.160】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン?

曲名：交響曲第9番ニ短調《合唱付き》

演奏：キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/52428>

概要：

2019年8月23日のベルリンフィル大ホールにおける演奏です。本公演をもってキリル・ペトレンコがベルリンフィルの新首席指揮者に就任することになりました。



出演者は次のとおりです。

マルリス・ペーターゼン(ソプラノ), エリーザベト・クルマン(アルト), ベンヤミン・ブルンス(テノール), ユン・クワンチュル(バス), ベルリン放送合唱団, ギ

ース・レーンナールス(合唱指揮)

以上の他に下記が演奏されました。

アルバン・ベルク 《ルル》組曲

マルリス・ペーターゼン(ソプラノ)

なお、この番組では、IIJ（インターネットイニシアティブ）が、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（ベルリン・フィル）のメディア事業子会社「ベルリン・フィル・メディア」が手がけている演奏会配信サービス「デジタル・コンサートホール」において、4K映像のライブ配信を導入・実現するための技術支援を行なった成果を踏まえ、今回の4K映像ライブ配信導入では、アマゾン ウェブ サービス（AWS）の4Kエンコーダー「AWS Elemental Live（ソフトウェアベースのライブストリーミング向け映像処理アプライアンス製品）」を導入するなど、デジタル・コンサートホールに対し、4K映像ライブ配信環境構築のサポートを行っているとのことですが、残念ながら、ブルーレイレコーダーもTVも4K非対応ですので、その恩恵にはあずかれません。

<https://online.stereosound.co.jp/ct/17296833>

ペトレンコがベルリンフィルの新首席指揮者に就任した、シーズンのオープニングコンサートであり、1楽章から気合の入った演奏が展開され、紅潮した顔のペトレンコが切れの良い指揮でオーケストラを引っ張り、メンバーもこれに応えていきます。2楽章と3楽章では和やかな雰囲気も漂いますが、4楽章ではふたたび緊張感に満たされ、コントラバスの力強い響きがホールに響きわたります。最後のコーダに向かって盛り上がり、演奏終了後は、スタンディングオベーションが長く続きました。新首席指揮者就任への温かい歓迎とは言え、ペトレンコは幸先良いスタートを切ったと言えます。

以上